

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市榴岡児童館		
2 指定管理者	特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場		
3 指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・ 令和3年度 37,802人（前年度比 110.0%） ・ 令和2年度 34,361人 ・ 令和元年度 44,087人		
	《事業》 ・ 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業		
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 70,902千円 (67,684千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)		
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)		
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。コロナ禍において今年度も地域との交流事業を縮小せざるを得なかったが、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業により地域連携の保持に努めている。	19/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場）による自己評価》
<p>○コロナ禍が長引き計画した行事全部が出来なかったのは残念であるが、「できない」から「出来る工夫をして実施する」意識を職員全員が持ち、行事を具体化しようとする前向きな姿勢と研鑽意識を評価したい。○感染予防対策として館内外と各サテライト室の主な個所や玩具に光触媒コーティングを施工した。利用者からは「ここまで配慮して頂き安心、感謝です。」の言葉を頂いた。○榴岡小との関係はコロナ禍という緊急事態の中でも校長と館長の共通認識の基、児童理解等だけでなくコロナ対応での流れの確認から保護者等への周知に至るまで協働意識が発揮された。○地域からは大震災時と同じく物心両面で支えて頂いた。○小中学生の自由来館が制限された一年だが、「おいでよ夜の児童館へ」や「プチクリスマス会」等を実施できた。定員に対し応募が上回りニーズに応じきれなかった事、子ども参画による子どもスタッフ会を立ち上げることが叶わず「こどもまつり」ができなかった事、中学生のアンケートから窺えた思いを形にできなかった事を来期こそ実現したい。○地域世代間交流の場である児童館まつりは中止としたが、乳幼児親子向けと小学生の「ハロウィンパレード」と地域諸団体と小学生対象の「ワイワイまつり」を再開できた。○乳幼児親子の利用制限を避けるため年齢毎の定例会は分室2で行い、本館での親子利用を優先した。母親のストレスを軽減するため母親同士のおしゃべりタイムを大切にした。2年ぶりに「ママココフェスティバル」を2日に分けて実施できた。○コロナ禍の中でも利用率が高く分散化した大規模児童クラブを滞りなく行えたと思う。登録児童対象に「そあとの庭」ワークショップを含む体験活動を小規模に全プログラムを行うことができ、保護者の活動に対する共感が広がったと感じる。恒例の保護者会による大そうじ会も嬉しかった。○放課後児童ディゾウさんの家主催の作品展に自分表現のため出展した。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置等の発令があったが、児童クラブに関しては、年間通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部は休止としていたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>児童健全育成事業においては、コロナ禍において一部が計画通りに実施することができなかったものの、感染予防のための対策の徹底と子どもたちの成長を見据えた体験型の行事の企画の両立を図りながら、関係者の協力を得て概ね実施することができた。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、地区民生委員児童委員との共催で実施した「つつじがおかサロン」や子育てサロン「びっころ」、「ママココフェスティバル」などの開催を通じ、乳幼児親子の交流の場と居場所づくりに努めた。</p> <p>地域交流推進事業においては、コロナ禍の中で対面型の行事の開催が難しいなかでも、児童館だより等の配布を通じ関係機関との交流を続け、今後の各種行事の再開を目指すとともに引き続き連携を図るよう努めた。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、感染拡大防止策の徹底を行いながら児童の受け入れを行うとともに、小学校との連携を通じてコロナ禍における対応や児童の相互理解に取り組んだ。また、児童の安全確保のために実施した不審者対応訓練では、地区防犯協会と仙台東警察署の協力のもと、実際に想定される事例をもとにした実践的な訓練を行うことができた。</p> <p>こうした特色のある館の様々な事業を通じて、常に職員のスキルアップを意識して遊びの提供や子ども達の支援に取り組んでおり、評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課